

令和 7 年度障害者支援施設等デジタル技術等活用支援事業
【ご報告】

かがわの家ジュピターでは、令和 7 年度障害者支援施設等デジタル技術等活用支援事業の補助金を活用し、眠り SCAN を導入しました。

—導入目的—

重度の障がいをもつ利用者の方たちが暮らすグループホーム、かがわの家ジュピターでは、自分の意思を言葉にして伝えることが難しい利用者の方々の心と体の状態を知る一つのきっかけとして、眠り SCAN の導入を検討しました。

眠り SCAN では睡眠状況や呼吸、心拍などを確認することができます。グループホームで暮らす利用者の中には、てんかん発作がある方や安定した睡眠が取りにくい方もいるため、体調の変化や離床などに気づき、適切な支援につなげることを目的として導入しました。また、睡眠状況などを把握できるようにすることで、夜間支援における職員の負担軽減も導入の目的の一つです。

—活用状況—

導入後は、利用者一人ひとりの睡眠リズムや夜間の様子を把握しやすくなり、支援に役立てています。睡眠の状態を継続的に確認できることで、体調変化の早期発見や生活リズムの理解につながっています。

また、必要なタイミングで状況を確認できるようになったことで、夜間巡回の方法や回数を見直すことができました。これにより、利用者の睡眠を妨げることなく見守りを行えるようになり、より安心して過ごしていただける環境づくりにつながっています。

今後もデジタル技術を活用しながら、利用者一人ひとりの安心・安全な暮らしと支援の質の向上に努めてまいります。

眠りスキャンを導入したことにより、夜間のスタッフが以前よりも安心して支援することができているようです。今後も利用者の方々やご家族が健康で安心した生活を送れるよう、支援をしていきたいと思っております。

社会福祉法人雲柱社
かがわの家ジュピター